

【水産振興部】令和8年度当初予算 予算見積総括表

令和8年度予算の基本方針

水産振興部では、「若者が地域で稼げる魅力的な水産業」の実現に向け、「第5期産業振興計画」において、水産業のスマート化による操業の効率化、養殖業の拡大による漁業生産量の確保と輸出の強化、若者や女性等の参入促進による新規漁業就業者の確保・定着に取り組めます。

一般会計

令和8年度予算見積額	3,527,216 千円
令和7年度当初予算額	3,508,798 千円
差引増減額	18,418 千円
対前年度比率	100.5 %

沿岸漁業改善資金助成事業特別会計

令和8年度予算見積額	9,028 千円
令和7年度当初予算額	12,762 千円
差引増減額	▲3,734 千円
対前年度比率	70.7 %

(注) 上記には、人件費を含まない。

【水産振興部】令和8年度当初予算 主な新規・拡充事業一覧表

※ () 内は一般財源

新規 人口減少

創造枠

① 養殖業スマート化経営戦略策定等支援業務委託料 22,660千円(22,660千円)

経営体の収益の増加と、収益を従業員の所得に還元する仕組み作りに取り組む養殖経営体の経営戦略の策定を支援

委託内容 : 個別コンサルティング (7経営体×5回)
勉強会 (2箇所(宿毛市、須崎市)×5回)

新規 人口減少

創造枠

② 養殖業成長産業化推進事業費補助金 20,000千円 (20,000千円)

高水温などのリスク対策を行いつつ生産の維持増大をするために、既存の養殖漁場の利用方法の見直しや拡大等を行う漁協を支援

補助先 : 漁業協同組合
補助率 : 1/2
補助上限額 : 20,000千円
補助内容 : 漁場再編計画の策定
(既存漁場や新規漁場の整備、これらを行うために必要な代替漁場の確保、それに伴う費用・スケジュールなどの試算)

新規 人口減少 デジタル

創造枠

③ 水産業試験研究費 (高水温・赤潮対策に向けたテレメータブイの導入・運用) 34,320千円(34,320千円)

養殖事業者が、高水温・赤潮対策として出荷調整や給餌の判断、漁場の移動などの予防策を迅速にするために必要な漁場環境情報(水温・溶存酸素量等)を測定するテレメータブイを設置し、測定した情報をリアルタイムに発信

新規 人口減少

創造枠

④ 養殖業販売拡大支援事業委託料 6,949千円(6,949千円)

養殖業者の収益の増加に繋げるために、養殖業者が加工業者と連携して行う国内の量販店等との直接取引や情報発信の強化を支援

拡充 人口減少

創造枠

⑤ 女性活躍推進事業費、水産業成長産業化沿岸地域創出事業費補助金 (女性主体操業モデル) 33,004千円(26,653千円)

女性を主体とした操業モデルの事業化に向けた支援を実施

委託内容 : 操業から販売までの経営戦略の策定、新規就業者の募集、確保及び育成や経営開始に向けた伴走支援

補助先 : 市町村
主な拡充内容 : 女性主体の操業モデルを実践するために必要となる漁船漁具等を導入する経営体を支援(補助率・補助上限額のかさ上げ)
補助率 : 1/10(女性主体) ← 1/20(通常)
補助上限 : 20,000千円(女性主体・法人)
5,000千円(女性主体・非法人) ← 2,500千円(通常)

新規

創造枠

⑥ 陸上養殖施設等整備事業費補助金 17,000千円(17,000千円)

養殖生産量の増大、若者や女性等、多様な人材の雇用機会の拡充を図るため、陸上養殖に取り組む事業者の施設整備を支援

補助先 : 民間企業等
補助率 : 新設、敷地外増設
・10%(雇用:2~4人) ・20%(雇用:5人以上)
※敷地内増設の場合は、それぞれ5%、15%
・投下固定資産額1億円以上かつ新規雇用10人以上で5%加算
補助上限額 : 6億円
雇用奨励金 : 正規社員数×100万円 非正規社員数×80万円